

## § 実用新案登録（管理人が昔に登録申請したものです。）

【提出日】平成 11年 9月 5日

【考案の名称】枕カバー兼バッグ

【請求項の数】2

【考案者】

【住所又は居所】奈良県

【氏名】モリオ

【提出物件の目録】

【物件名】明細書 1

【物件名】図面 1

【物件名】要約書 1

【書類名】明細書

【考案の名称】枕カバー兼バッグ

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】枕カバー本体1の側内に枕用中綿材2を配し、挿入する枕材3の種別とその有無を限定せずに、使用できることを特徴とする枕カバー。

【請求項2】枕カバー本体1に、巾着紐5又は紐6を設け、バッグとして使用できることを特徴とする、請求項1の枕カバー。

【考案の詳細な説明】

【0001】

【考案の属する技術分野】

この考案は、挿入する枕材を限定せず、好みの枕を設定でき、アウトドアにはバッグとして携行できる枕カバーに関する。

【0002】

【従来の技術】

従来の枕カバーは、生地のみでできた、筒状又は袋状の形態のため、挿入する枕材は枕に限定されており、硬さや高さを自由に調節できなかった。

【0003】

また、枕と共に携行するには、かさ張るため、海・山へのキャンプには持って行き辛いものとなっていた。

【0004】

【考案が解決しようとする課題】

この考案は、上記の不便さを解決する、枕カバーの提供を目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、この考案の枕カバー本体1の側内に、枕用中綿材2を配し、挿入する枕材3の種別とその有無を限定せずに、使用できることを特徴とする。

【0006】

また上記の特徴を生かして、枕カバー本体1に、巾着紐5又は紐6を設け、必要な物品を入れて持ち歩く、バッグとして使用できることを特徴とする。

## 【0007】

### 【作用】

この考案の、枕カバーは中身の枕材を限定せず、自由な物に変更できるため、枕の硬さと高さを、使用者の好みに応じて調整でき、熟睡を得ることができる。

さらに廃品を枕材に使用することにより、地球環境の悪化を防ぐことができる。

## 【0008】

また、その上に、紐を設けているためアウトドアやキャンプで使用する場合、目的地までバッグとして携行すれば、かさ張ることがなく、使用者は悪環境の中でも好みの枕を設定でき、熟睡を得ることができる。

## 【0009】

### 【実施例】

図1は、本考案の斜視図であり、1は枕カバー本体、3は挿入される枕材、4は枕材挿入口、5は巾着紐を示す。図2は枕用中綿材2の状態を示す縦断正面図である。枕用中綿材としては、羽毛、そば殻、樹脂性のカットパイプやビーズ、木片、化学繊維綿、天然綿等がある。図3はバッグとしての使用方法を示す例1の図であり、巾着紐5を設けた場合の使用例である。図4はバッグとしての使用方法を示す例2の図であり、紐6を設けた場合の使用例である。

## 【0010】

この考案では、上記の実施例の他に、以下の形態をとることができる。

- (1) 枕材挿入口を、複数箇所に設けることがある。
- (2) 使用中に枕材3が枕カバー本体1より出ないように、枕材挿入口を閉じる方法として、ファスナー、スナップ、ボタン、マジックファスナー等を使用したものがある。
- (3) 枕用中綿材2の入る部分を、縫製等により表面側と裏面側の2室に分割することがある。また、この場合は片面ずつ異種の枕用中綿材を配すこともある。
- (4) 経済性を考慮して、上記(3)の片面にのみ枕用中綿材を配し、その反対の面は、生地のみとしたものもある。
- (5) 巾着紐5又は紐6は、1本でも複数本でも良く、また、脱着可能な構造とすることができる。
- (6) 巾着紐5又は紐6の取付け位置は、枕材挿入口付近だけでなく、枕カバー本体1のどの位置に設けてもよいものとする。
- (7) カバー本体には、デザイン上のフリルを付けたり、枕用中綿材を固定する目的で、キルト縫製を施す場合がある。

## 【0011】

### 【考案の効果】

この考案の枕カバーに、経たりを生じた使用済みの古い枕を挿入した場合は、新品同様の枕として使用可能となり、また枕だけでなくバスタオルや古着等を挿入したり、何も挿入せずそのまま使用することにより、使用者の好みの枕を設定でき、熟睡を得ることができると同時に、枕材として上記のような廃品を利用することにより、地球環境の悪化を防ぐ効果を有する。

【0012】

さらに、海・山へのキャンプや行楽に出かける時は、必要な物品を入れてバッグとして携行でき、荷物がかさ張らずに移動でき、行き先にて枕材として好みの物を挿入することができる。この場合は枕材としてレトルト食品や衣類等であっても良く、悪環境の中で熟睡を得ることができる効果を有する。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案の斜視図である。

【図2】 枕用中綿材の状態を示す縦断正面図である。

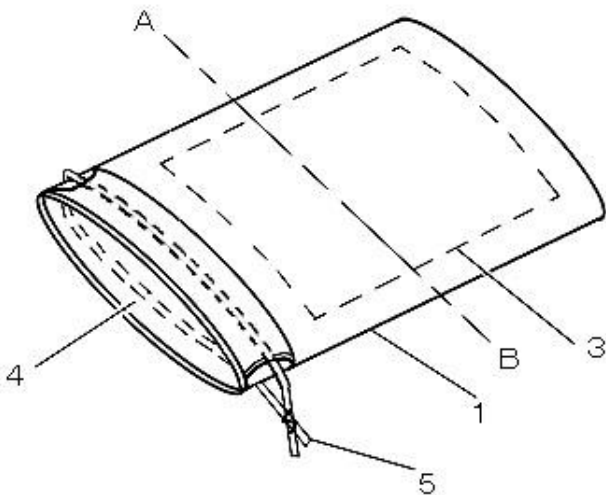
【図3】 バッグとしての使用方法を示す例1の図である。

【図4】 バッグとしての使用方法を示す例2の図である。

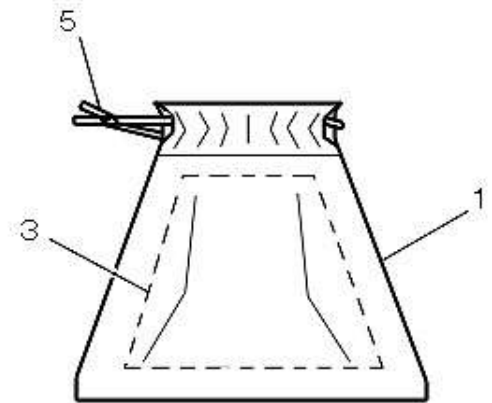
【符号の説明】

- |          |         |      |
|----------|---------|------|
| 1…枕カバー本体 | 2…枕用中綿材 | 3…枕材 |
| 4…枕材挿入口  | 5…巾着紐   | 6…紐  |

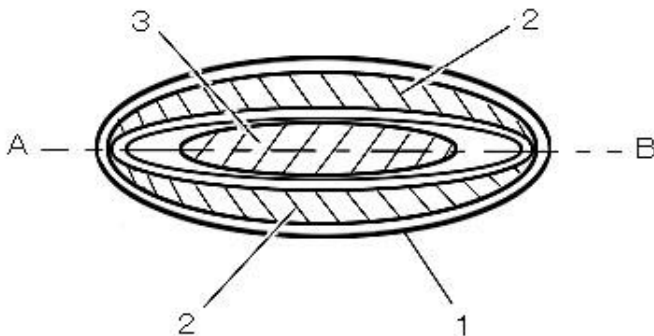
【図1】



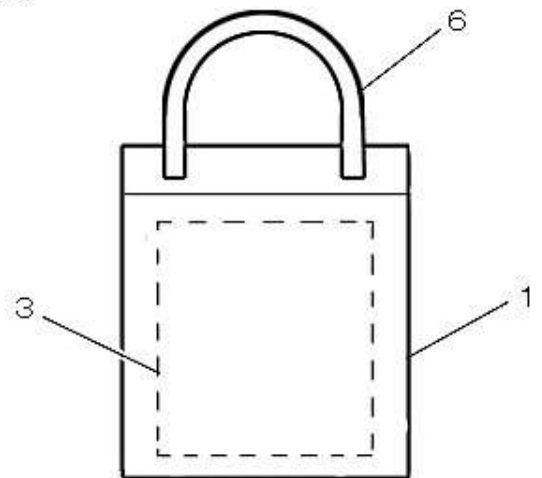
【図3】



【図2】



【図4】



【書類名】 要約書

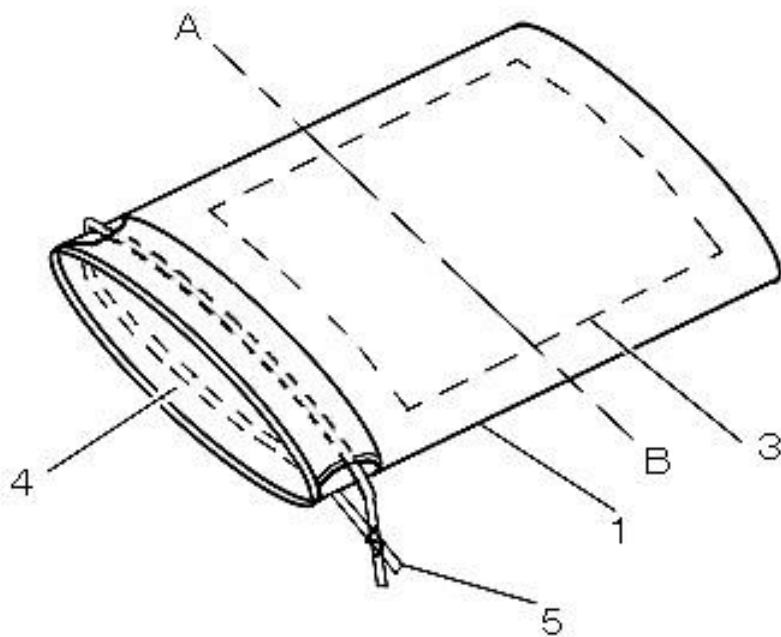
【要約】

【課題】 中身の枕材を自由に変更して、好みの枕を設定でき、かつ、アウトドアーで使用する場合は、目的地までバッグとして携行できる枕カバーの提供を目的とする。

【解決手段】 枕カバー本体 1 の側内に枕用中綿材（図示せず）を配し、挿入する枕材の種別を限定しないようにする。また、さらに枕カバー本体 1 に巾着紐 5 等を設けて、バッグとして使用することができる構成とする。

【選択図】 図 1

【図 1】



【実施例】

